

# PSS REPORT 2012

**PSS** Precision System Science Co., Ltd.  
プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

## ▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗について報告させていただきます。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表取締役社長

田島 秀二

## ■ 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（体外の遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、バイオ診断システムの提供を通じて、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くご支援です。そのため事業領域において、強みである「自動化システム技術」を活かす事、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA自動抽出装置は、累計1万台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関われる事だと考えています。

## ■ 業績について

第27期（H24/6）決算と第28期（H25/6）見通しについて⇒参照 連結財務ハイライト

第27期業績は、前期第26期（H23/6）に対して、OEM先からの受注回復基調により、円高の影響を受けましたが、増収増益を確保致しました。また、経費の削減にも努めて一定の成果を出しています。しかしながら、期初の見込み通りには、十分な利益を確保できなかった事から赤字計上となりましたが、赤字幅は前期に対しては大きく改善できました。

第28期見通しは、現状の受注状況と本年7月に連結子会社となったエヌピーエス株（以下NPS）の外部売上（PSSグループ向け除く）により、増収を見込んでいます。また、製造委託先との協力のもとに製造原価の削減に努める事と、その他コストダウン活動により最終損益黒字の確保を目指してまいります。

## ■ 最後に

先進国は日本を先頭にして歴史上例のない少子高齢化社会の到来（中長期的には新興国も同様）により、医療費、年金、福祉等の社会コストが、増大し続ける見込みです。その対策として、費用対効果の高い医療診断システムが社会的ニーズとなっている事から、事業領域とするバイオ診断の利用分野は、近い将来急拡大していくものと考えています。PSSの技術を有効に利用できる道筋を把握し、具体的かつ斬新な戦略を実行して、株主・投資家の皆様のご期待に応える成果を着実にお見せできるよう事業を推進してまいります。

引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

## PSSの提案する診断システム

- 全自動遺伝子診断装置 geneLEAD®



## トップメッセージ動画

(PSSのHPから視聴できます。)

- 第27期（H24/6）決算説明会（2012.9.7:OSEホール）

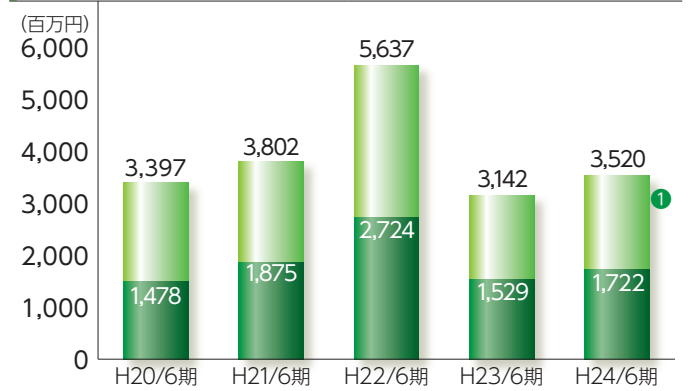


第27期(H24/6期連結会計年度)業績について

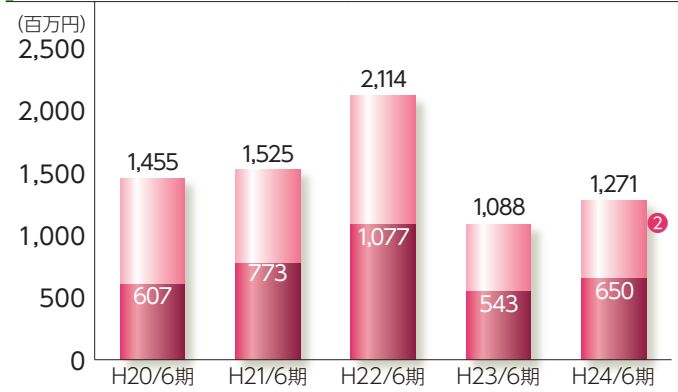
当初見込んでいた受注契約の時期がずれ込んだ事と、円高の影響を受けて、業績見込みは達成できませんでした。が、赤字幅は前期比大きく改善できました。

キアゲングループと三菱化学メディエンス(株)向け販売の回復や自社販売の増加などから、①売上高3,520百万円(前期比12.0%増)、②売上総利益1,271百万円(前期比16.8%増)の増収増益でしたが、期初の見込みに対しては、十分な利益を確保できず、コスト削減努力による③販管費1,407百万円(前期比7.4%減)を賄えず営業損失136百万円(前期は営業損失432百万円)を計上しました。また、為替差損31百万円の計上により経常損失173百万円(前期は経常損失424百万円)、当期純損失189百万円(前期は当期純損失366百万円)となりました。

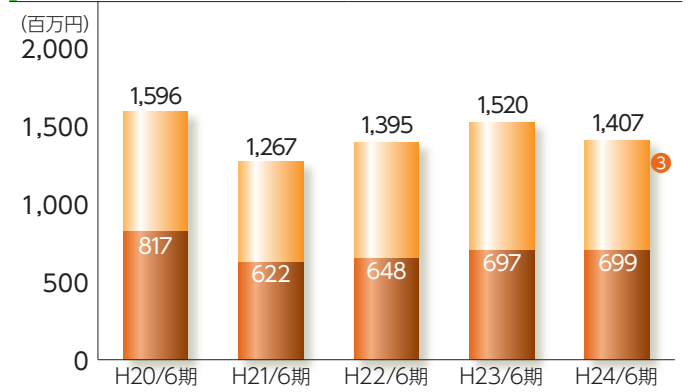
売上高



売上総利益

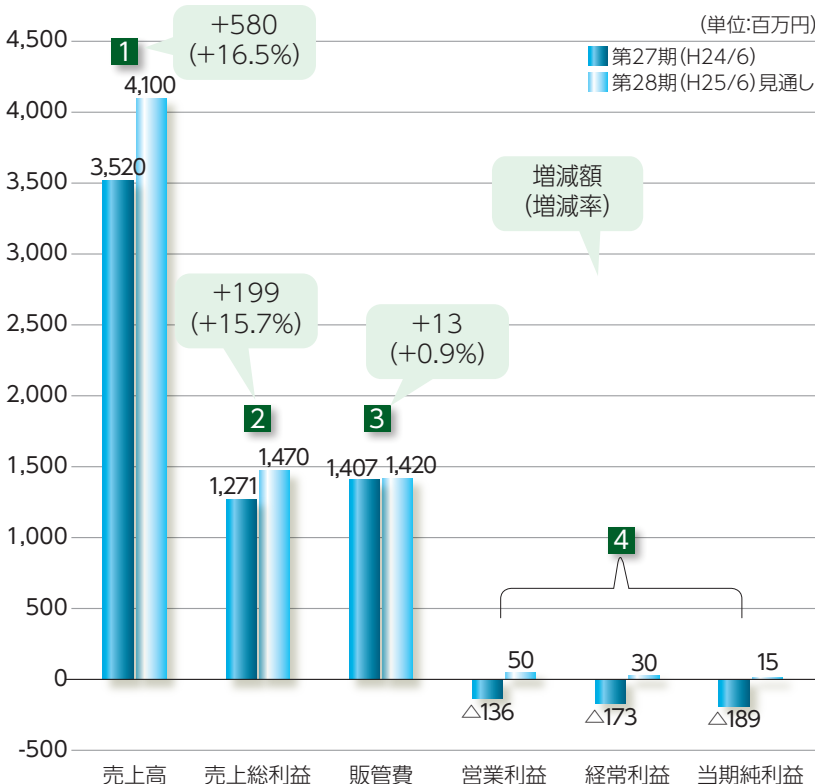


販管費



第28期(H25/6)連結業績見通しについて

●第27期(H24/6)業績比



◆第28期(見通し)は継続案件を含めた、新規受注案件が期待され、第27期業績比増収増益見通しです。

(なお、為替の見通しは、1ユーロ=100円、1ドル=80円にて算定しております。)

1 ▶売上拡大: ①ロシュグループ向け販売増加(過剰在庫問題からの回復) ②米国アイビス社やアイルランドのバイオリン社等の新規OEM案件の開発進捗及び量産機の市場投入 ③新たに子会社となった製造委託先であるNPSの外部売上(PSSグループ向け販売を除く)の計上を見込んでいます。

2 ▶売上総利益改善: 上記1売上の拡大基調と、NPSを中心とした製造委託先との協力のもとに製造原価の削減に努めます。

3 ▶販管費の拡大抑制: NPSの子会社化に伴い、全体的には増加する見通しですが、研究開発費の抑制を中心に削減努力を継続致します。

4 ▶最終損益黒字見込みなるも無配当の予定: 上記2と3の努力により営業利益50百万円の確保を目指します。なお、配当方針(連結配当性向20%)については、変更はないものの当期純利益が15百万円と少額予想のため、無配当を予想しています。

更に詳しい内容のPSSHPコンテンツ

TOPページ> 投資家の方へ



## ■ 事業の進捗について

### PSS、アボットと開発契約を締結(2012年3月26日)

本契約により開発・製造される新装置は、検体の分割、精製を含む前処理工程の自動化を実現し、アボットの自動細菌検査システムを、更に迅速かつ効率的なテストを可能にするものです。

本装置の開発の意義は世界的なライフサイエンス企業と発展的な契約を締結できただけでなく、PSSの新技術Bellowla®（遺伝子解析の自動化装置において重要な工程となるサンプルや試薬の分注を、高額な部品を使用せずに行うことで、システムの低コスト化を可能にするものです。）が採用された事により、新製品の展開に期待がもたらされました。

#### ● 新技術搭載装置

Bellowla®-9



関連プレスリリース（2012年4月20日）

PSSの「変形式分注チップ、変形式分注装置、および変形式分注処理方法」に関して、中国での特許が成立

### 機構改革および役員人事異動のお知らせ(2012年5月14日)

PSSグループ内の組織体制を見直し、効率的な海外事業推進、開発製品の確実な上市を実現するため、新たに統括本部制を導入し、海外事業統括本部、生産統括本部、経営統括本部の各統括本部を、7月1日付で発足させました。

### (株)ジェネティックラボと遺伝子解析システムで共同研究開発契約を締結(2012年5月18日)

今回合意された共同研究開発契約は、(株)ジェネティックラボがもつ技術及び情報を活用し、PSSの全自動遺伝子検査システムを、早期実用化につなげることを目指しています。対象となる検査項目は既存の項目に限らず、新規のバイオマーカーや、薬剤コンパニオン診断薬も含まれます。また、連携を推進強化のため「バイオコンテンツ投資事業有限責任組合」を通じて、同社に一部資本参加しました。

#### ● 契約調印式（PSS本社）



(左よりNPM:橋立社長、PSS:田島社長、NPS:石山社長)

### 持分法適用関連会社の子会社への異動に関するお知らせ(2012年7月31日)

持分法適用関連会社であるNPS（本社：秋田県大館市、代表取締役社長：石山裕志）の株式を日本パルスモーター株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：橋立弘紀、以下NPM）より追加取得し、同社を連結子会社化致しました。自動化装置の需要が世界的に広がっている現在の事業環境を鑑みて、このたび更なる生産管理体制の強化と製造コスト削減の加速をはかります。

## ■ メディアに取り上げられたPSS

### アメリカの業界専門誌「Instruments Business Outlook」にてOEM製造メーカーの事例として紹介(2012年6月15日)

PSSのDNA自動抽出装置技術Magtration®のコンセプト（シンプル、コンパクト、メンテナンスフリー）が、社会に受け入れられた事と世界的な企業とOEM契約できた事が評価されました。

### BSジャパン「地球★アステク」にてPSSの技術が紹介されました。(2012年7月5日)

当番組ではPSSの開発した多項目同時（遺伝子、タンパク質）測定自動化技術「BIST®」が、健康増進事業に活かされています。日本人の15%に葉酸の不足しやすい遺伝子多型があり、この安価、簡易、迅速な測定装置により、効果的に脳卒中、認知症を予防する新しい手段が、実社会で応用される事が期待されており、その成果は産学連携として成功事例となっています。

### PSS田島社長のインタビューがラジオNIKKEIにて放送されました。(2012年8月20日)

■番組名 『菅下清廣のIRサプリ』

■番組内容

【オープニング】 会社紹介

【コーナー1】 事業内容

【コーナー2】 社長にとっての人生のターニングポイント

【コーナー3】 業績・今後の戦略

【エンディング】 社長の健康法について

#### 放送内容を聴くには？

●TOPページからリンク設定



## ■ PSSのCSR活動

### 東京大学五月祭の実験体験型科学イベントに協賛しました。(2012年5月19日～20日)

多くの人々に科学の面白さを伝えようとする活動の趣旨とイベントの社会的意義に協賛をして、小スペースですが広告出稿をしました。

## ■ 個人投資家説明会ご案内

大阪開催	
開催日時	平成24年12月1日(土) 13:00～16:30(予定) *1
会場	ハートンホール 大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル12階 TEL 06-6258-1141
主催者	株式会社インベストメントブリッジ <a href="http://www.bridge-salon.jp">http://www.bridge-salon.jp</a> (ブリッジサロン*2:3社合同説明会)
内容	代表取締役社長田島秀二より、直近の業績概況及び事業進捗について説明申し上げます。
ご参加申込方法	主催者の株式会社インベストメントブリッジへ直接お問い合わせ下さい。 お問い合わせの方法として、①電話②FAX
お問い合わせ先	株式会社インベストメントブリッジ ブリッジサロン参加希望 ①電話:03-5842-5765②FAX:03-5842-5767

\*1記載しております開催時間につきましては予定であるため変更される可能性があります。なお、PSSのHPからも、予定が確定次第ご案内させていただきます。

\*2ブリッジサロンは、(株)インベストメントブリッジが主催するIR会社説明会です。

### 説明会会場に行けない方は？

PSSのHPからも説明会動画を、視聴できる予定です。



## 会社概要 (H24/6末現在)

CORPORATE PROFILE

商号：プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
(英文社名)：Precision System Science Co., Ltd.

設立年月日：1985年7月17日

役員：代表取締役社長 田島 秀二  
常務取締役 秋本 淳  
取締役 小幡 公道  
取締役 長岡 信夫  
取締役 西村 博司  
取締役 平原 善直  
取締役 池田 秀雄  
監査役 高橋 達雄  
監査役 荻原 大輔  
監査役 平山 伸之

(注) 1. 西村博司氏は、平成24年6月30日付けで辞任いたしました。  
2. 平原善直氏は、平成24年9月26日付けで退任予定です。  
3. 荻原大輔氏及び平山伸之氏は、会社法第2条第16号で定める社外監査役です。

資本金：2,217百万円

従業員数：98名

(注) 従業員数は就業人員です。(派遣社員、パート等を含まない。)

連結子会社：Precision System Science USA, Inc. (米国)  
Precision System Science Europe GmbH (ドイツ)  
ユニバーサル・バイオ・リサーチ(株) (千葉県松戸市)  
PSSキャピタル(株) (千葉県松戸市)  
バイオコンテンツ投資事業有限責任組合 (千葉県松戸市)  
ジェネティン(株) (東京都千代田区)  
PaGE Science(株) (東京都小金井市)

(注) エヌピーエス(株)は、平成24年7月31日付けで連結子会社となりました。

事業内容：バイオ診断システムインテグレーター

体外の遺伝子・タンパク質解析関連業界における研究開発やその研究成果の実用化に用いられる自動化装置、その他理化学機器、ソフトウェア等開発及び製造販売、並びに自動化装置に使用される試薬及びプラスチック消耗品製造販売等

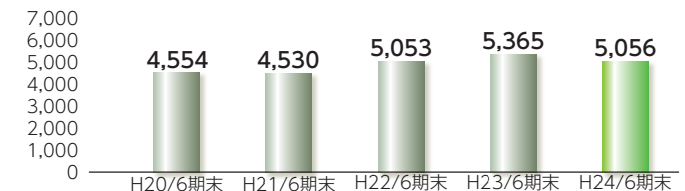
## 株式の状況

STOCK INFORMATION

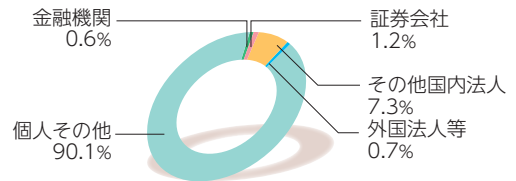
発行可能株式総数 342,400株  
発行済株式の総数 91,260株  
株主数 5,056名  
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	22,746	24.9
有限会社ユニテック	6,000	6.6
高山 茂	1,356	1.5
中武 敏子	1,105	1.2
高橋 計行	1,074	1.2
井上 功	1,053	1.2
小幡 公道	872	1.0
亀山 稔	855	0.9
プレジジョン・システム・サイエンス従業員持株会	733	0.8
石井 孝哉	598	0.7

株主数推移(名)



所有者別保有株式分布状況



## 株主メモ

SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

剰余金の配当基準日 期末配当金 毎年6月30日  
中間配当金 毎年12月31日

定時株主総会 毎年9月

単元株式数 1株

株主名簿管理人 事務取扱場所  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<http://www.pss.co.jp>)  
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合*
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		・みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ・みずほインバスターズ 証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払・支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用下さい。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 *株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託しなかった場合

## PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。

TOPページ>Q&Aお問い合わせ>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録下さい。

(将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おき下さい。

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 業務本部 IR・社長室

▶〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL: 047-303-4800 ▶FAX: 047-303-4810 ▶Eメール: ir@pss.co.jp